

功山寺で「平和の鐘を鳴らそう 2026」

戦後日本が国際社会に復帰する大きな一歩となった「ユネスコ加盟 75 周年」という大きな節目の年になります。文部科学省が 75 周年記念イベントの開催及び募集を行っています。

そこで、1945 年 6 月 29 日と 7 月 2 日に下関空襲で 324 名の方々が亡くなられた方に対して「哀悼の意」をもって鐘を突き、現在、世界の各地で武力衝突や人々の分断が続き、平和の尊さが改めて問われています。ユネスコ加盟は国に先駆けて平和を願い立ち上がった先人の思いを受け継ぎ、平和な世界実現のために貢献することが民間ユネスコ運動の使命ではないかと考えます。

功山寺の鐘を突き、広く市民の皆様にもユネスコ創設の原点を改めて考える機会になるものと考えます。また、近隣の小中学生の皆さんに呼び掛けて、主に生徒さんに鐘を突いて頂くことを考えております。

～ 平和への願いを、全国の鐘の音とともに未来へ ～

実 施 要 項

日時 令和 8 年 7 月 5 日（日曜日）AM:11 時 50 分から

場所 下関市長府川端 1 丁目 2－3 功山寺 梵鐘

功山寺の梵鐘は 1695 年の元禄 8 年に設立されました。

ユネスコ憲章の前文にある

戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和の砦を築かなければならないとある前文を理解し世界の平和を願う行事としましょう。鐘を突く前に平和の思いを述べます

下関ユネスコとは 1948 年に当時の教育委員であった松野久男氏の呼び掛けで、同年 4 月 10 日にユネスコ協力会を発足した。山口県では第 1 号であった。記念講演会には火野葦平さんの講演会が 南高校の講堂で行われ、大盛況だったそうです。（創立 40 周年記念誌より）

歴代のユネスコ会長

松尾久男(初代)沢井順一郎(2 代)目碕賢二(3 代)布村真作(4 代)佐藤州平(5 代)出口一視(6 代)
梶山博(7 代)林孝介(8 代)梅本千代子(9 代)小田明(10 代)山本徹(11 代)

連絡先

下関ユネスコ協会 平和の鐘をならそう プロジェクト係

下関教育委員会 生涯学習課 ユネスコ係 電話 083-231-2054

担当 090-3747-1487(倉光)